

令和7年度 市政懇談会

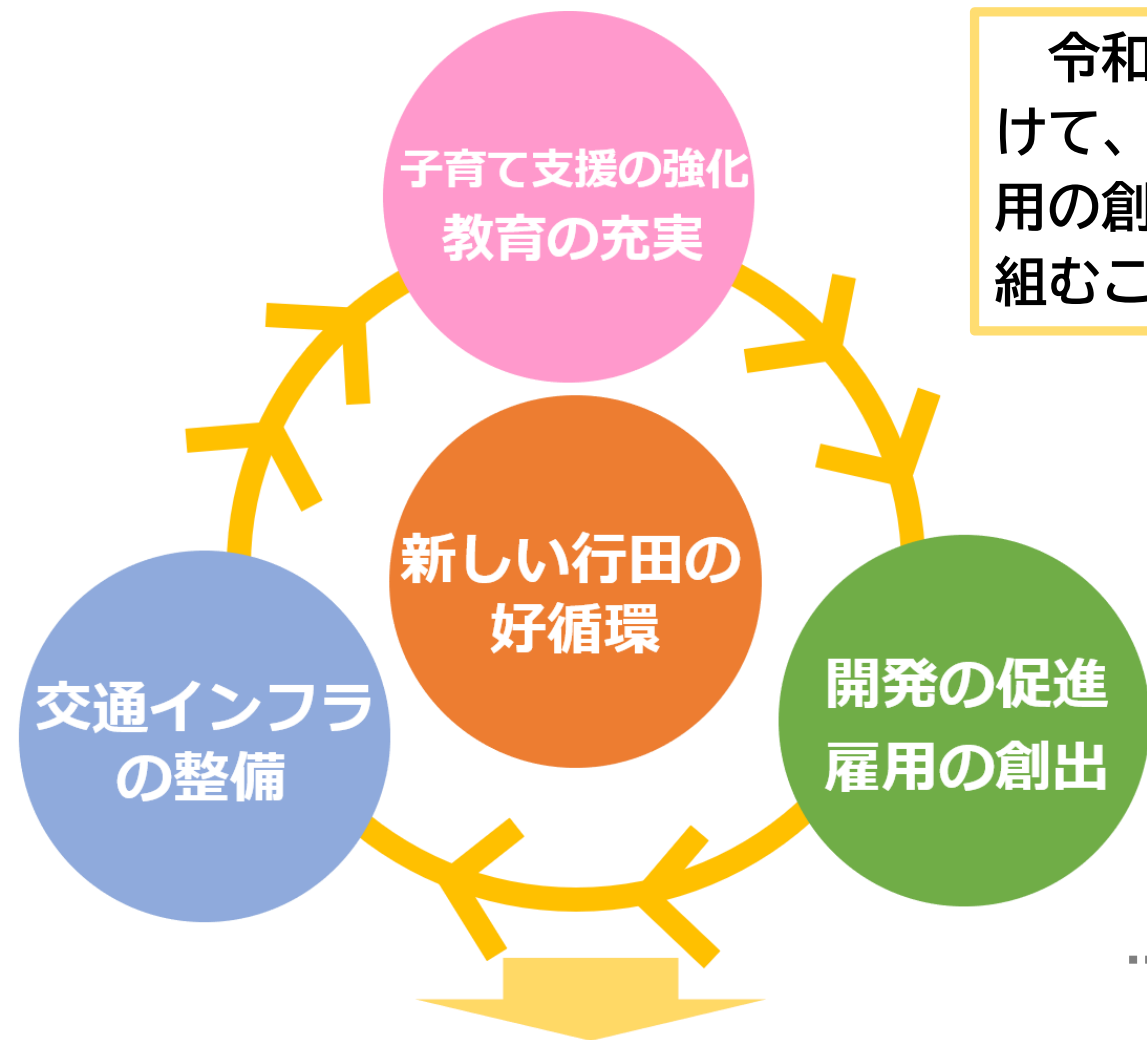


開始までしばらくお待ちください

行田市

令和7年度当初予算のポイント

令和7年度当初予算は、基本構想で掲げた将来像の実現に向けて、「子育て支援の強化・教育の充実」、「開発の促進・雇用の創出」、「交通インフラの整備」の3つの重点政策に取り組むことで、新しい行田の好循環を創出していく。



人口減少の抑制・活力の創出

重点政策

子育て支援の強化
教育の充実

交通インフラ
の整備

開発の促進
雇用の創出

一般会計

308億4,000万円

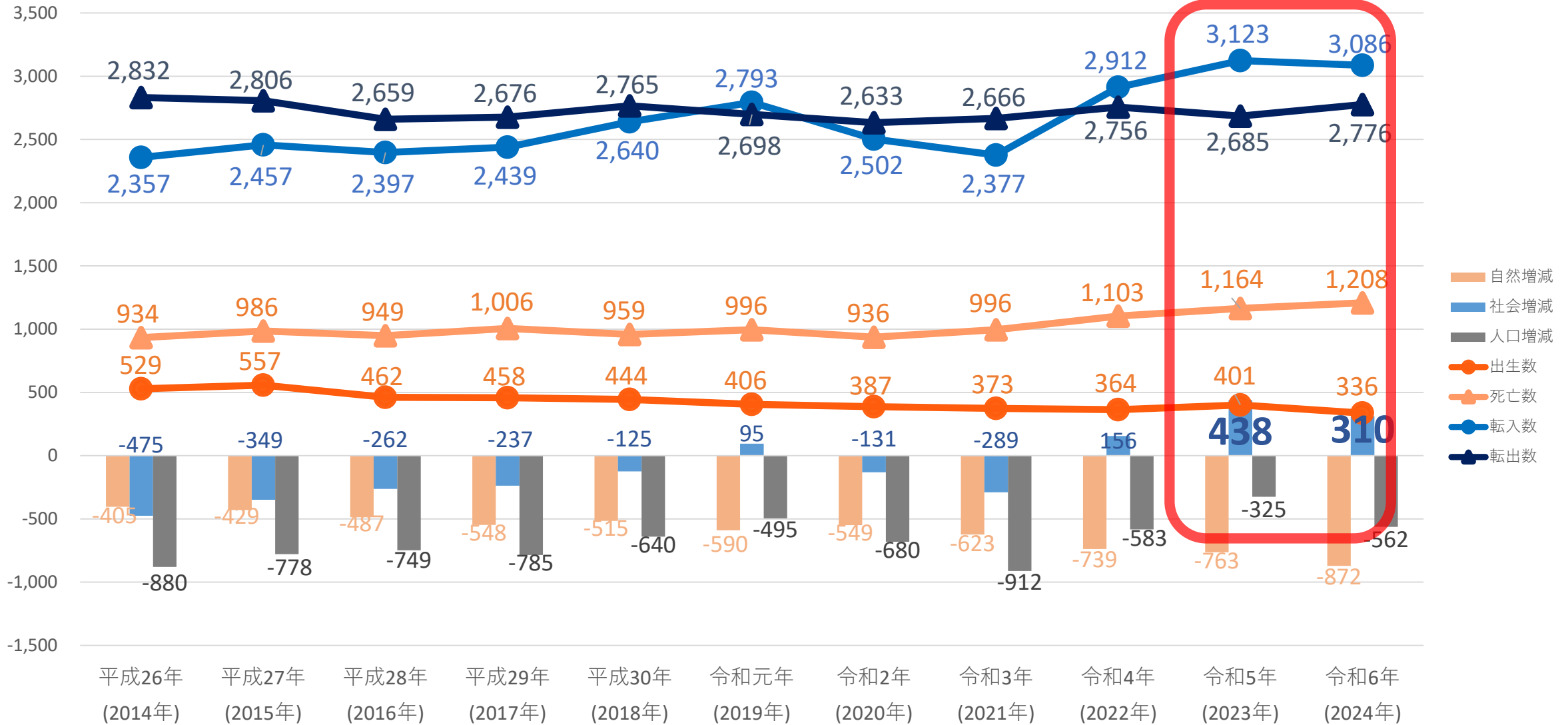
過去最大

前年度比+7.8%

全会計合計

543億2,397万6千円 前年度比+4.8%

行田市 近年の人口動態(2014-2024)



令和5年は438人、令和6年は310人の転入超過

出典：住民基本台帳

行田市なら0歳から18歳まで切れ目なくサポート

0歳～2歳

行田市独自

- ・ 3歳未満児保育料無償化
- ・ おうち子育て支援事業

3歳～5歳

国

幼児教育 及び 保育無償化

6歳～18歳

国

授業料負担軽減

行田市独自

子ども医療費無償化



拡充 3歳未満児保育料無償化

国に先駆けて所得制限のない**3歳未満児**の**保育料無償化**を引き続き実施

※年度途中で認可保育園への入園が難しい場合、認可外保育園の保育料補助も実施

拡充 多世代型子どもの居場所づくり

民間団体が実施する次の事業を支援

- ① 学習支援事業
- ② 多世代型こども食堂事業
- ③ 多世代交流事業
- ④ 行田こども居場所ネットワークによる団体統括事業

拡充 おうち子育て支援事業

未就園の0歳6か月から3歳未満児までを対象とした「こども誰でも通園制度」を通年で

令和6年度末時点

5園

令和7年度末時点

6園へ拡充



行田市独自 個別相談の実施

こども誰でも通園制度の利用者を対象に

保育コンシェルジュ等による育児や保育所への入所に関する個別相談を実施

開始時期：令和7年7月～

実施施設：太井保育園、小羊チャイルドセンター、やごうこども園

新規 朝のこどもの居場所づくり

保護者の就業と子育ての両立を支援するため、登校前の朝のこどもの居場所づくりを実施



(埼玉県モデル事業として実施)

新規 長期休業期間中等の昼食提供

長期休業期間中等の保護者の負担軽減を図るため、市内全学童保育室(20か所)で昼食を提供

(令和6年度の冬休みに4学童で試行的に実施)



新規 さきたま古墳公園「こどもの遊び場」整備

令和7年度は魅力的な遊び場を整備するための基本構想を策定

【整備内容】

- ① 屋内型遊び場
砂場、ボルダリング、ボールプール等
- ② 外遊び場
ふわふわドーム、滑り台、ブランコ、うんてい等

※その他休憩スペース、民間収益施設(飲食店)



令和7~8年度	令和9年度~	令和11年
事業手法の検討 ▶ 基本構想 (検討委員会において議論)	▶ 基本設計 工事等	▶ オープン 予定

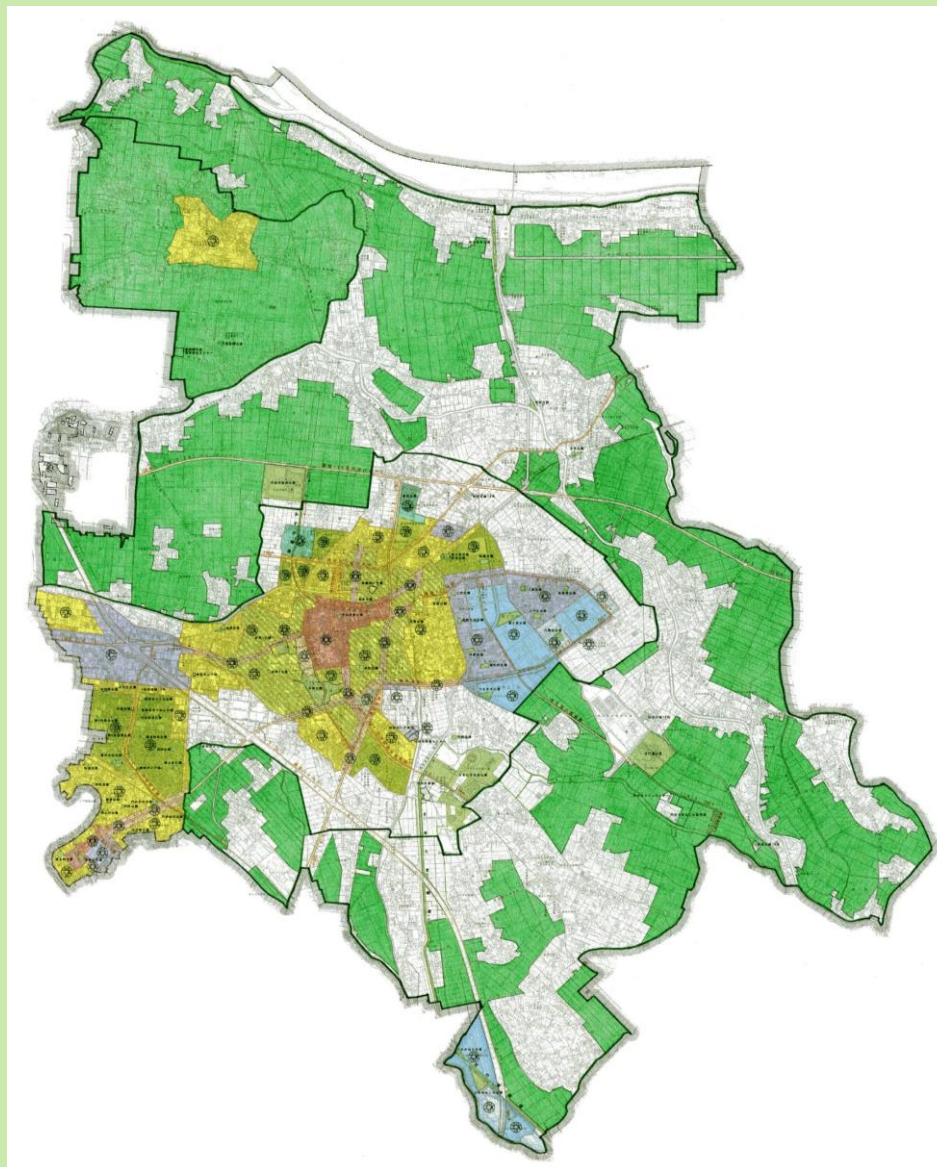
- ▶ 市が埋蔵文化財先行試掘調査を実施
- ▶ 都市計画マスタープランの土地利用構想を11年ぶりに見直し



- ▶ **プロロジスパーク行田**に決定
富士見産業団地拡張地区(若小玉)

羽生で出来ても
行田で出来ない理由

埋蔵文化財、農振農用地…



新規 まちなかウォーカブル推進

行田市駅の駅前広場や歩道拡張やキッチンカースペース、ベンチなどの設置により、居心地が良く歩きたくなる空間として整備



R7	<ul style="list-style-type: none"> ・南口駅前広場再整備 ・歩道整備設計
R8	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備 ・八幡通事業活用調査
R9~R11	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備 ・カラー舗装 ・休憩スペース ・ワークショップ など

継続 若者移住促進

若者の移住を促進するため
奨学金返還を最大3年間支援

対象者 : 新たに転入した方
 補助額 : 奨学金返還額の1/2
 年間最大: 12万円



市内に住んでいれば
就業先が市外でもOK

拡充 スマート農業の推進

スマート農業の導入などを行う農業者を支援

補助率: 1/2 上限額: 100万円

取組例

- ・自動操舵システム
- ・農業用ドローン
- ・デジタル色彩選別機
- ・スマート水管理システム



チーム行田で17号バイパス高速道路化の要望

R5.11月 国土交通省（国土交通副大臣面会）

R6.12月 国土交通省（国土交通副大臣面会）

「チーム行田」

行田市、市議会、商工会議所、
農業・運輸・福祉関係、自治会連合会、PTA連合会



4市で連携要望（熊谷市、本庄市、深谷市＋埼玉県）

R6.11月 国土交通省（道路局次長面会）、財務省（主計局主査面会）

R7.1月 国土交通省（国土交通副大臣・道路局長面会）、
内閣官房（内閣総理大臣補佐官面会）

- ①本庄道路の早期完成
- ②深谷バイパスの4車線化
- ③上武道路の県内4車線化



命と暮らしを守る道づくり全国大会

令和7年5月15日

全国から922名の首長が出席 行田市長が意見発表



乗合型A I オンデマンド交通

乗合型A I オンデマンド交通「**うきしろ号**」の本格運行

予約に応じた配車を乗合で行うことで
だれでも利用できるデマンド交通を実現

運行区域：市内全域

運行日時：月～土（日祝年末年始除く）

7:30～18:30

利用対象：市内在住の方



高齢者移動支援

県内初

高齢者の通いの場である「やすらぎの里」
や「老人福祉センター」などへの移動を支援

- ・ 無料送迎の実施
（社会福祉協議会、社会福祉法人瑞穂会、社会福祉法人清幸会）
対象：65歳以上
区間：指定乗降場所⇄通いの場
- ・ A I オンデマンド交通利用料金を一部補助

官民連携 ワイルドナイツサイクルシェアリング

市内外の回遊性向上のため

サイクルポートの設置

設置場所：郷土博物館、古代蓮の里、
やすらぎの里など11か所
どのポートでも返却可能

利用料金：10分88円

（上限8時間2,000円）

利用時間：24時間



官民連携 日本版ライドシェア

県内初

タクシーが不足する夜間の移動手段を確保するため
一般のドライバーや自家用車を活用した日本版ライドシェア
を実施

運行日時：火～土

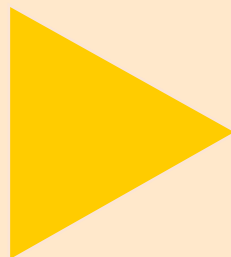
20:30～翌1:30

利用方法：タクシーアプリで予約



第3弾！！

市内の桜は、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」により武蔵水路沿い約9割の桜が被害を受けており、危機的な状況



①クラウドファンディング型ふるさと納税

を活用した武蔵水路沿いへの植樹

➤場所: 県立総合教育センター東側
(行田市富士見町2-24)



②武蔵水路沿い見沼公園の桜の整備

➤内容

武蔵水路の水辺景観保全連絡会
(構成団体: 水資源機構及び市)
による桜の整備(薬剤注入・剪定)

➤場所 見沼公園(荒木地区)

③水城公園への植樹

➤内容

行田さくらロータリークラブ
から桜の苗木などの寄贈

➤場所

水城公園



見頃は7月下旬～10月中旬 ツアーバスの予約が殺到



SL日本遺産のまち行田号

<特別運行>

8月30日(土)

午前9時55分 行田市駅発

7月22日(火)市内中学生以下のお子さんとその保護者を対象としたSL試乗会も開催

プレコンセプションケア

『プレコンセプションケア』を人の一生の健康づくりに取り組むための施策として位置づけ切れ目なく推進

未就学時期向け	・こどもの性教育研修会の開催
児童・生徒期向け	・男性向けHPVワクチン接種費用助成 ・児童・生徒向けの授業
成人期向け	・ライフデザイン研修会 ・妊娠や出産に向けた体づくり

一生涯を通じた
取り組みとしては

県内初

小動物(ペット)火葬棟の整備

斎場の西側駐車場に
小動物(ペット)の火葬棟を整備

令和5年度：設計
令和6年度 } 工事
令和7年度 }

令和8年2月
稼働開始(予定)

総合体育館空調整備

市最大の指定避難所である総合体育館空調を整備

場所：メインアリーナ
サブアリーナ

平常時



快適なスポーツ利用
大規模大会の誘致

災害時



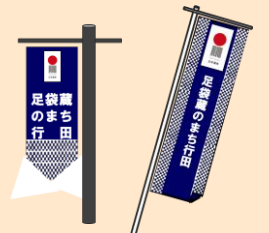
良好な避難生活

令和8年6月
稼働開始(予定)

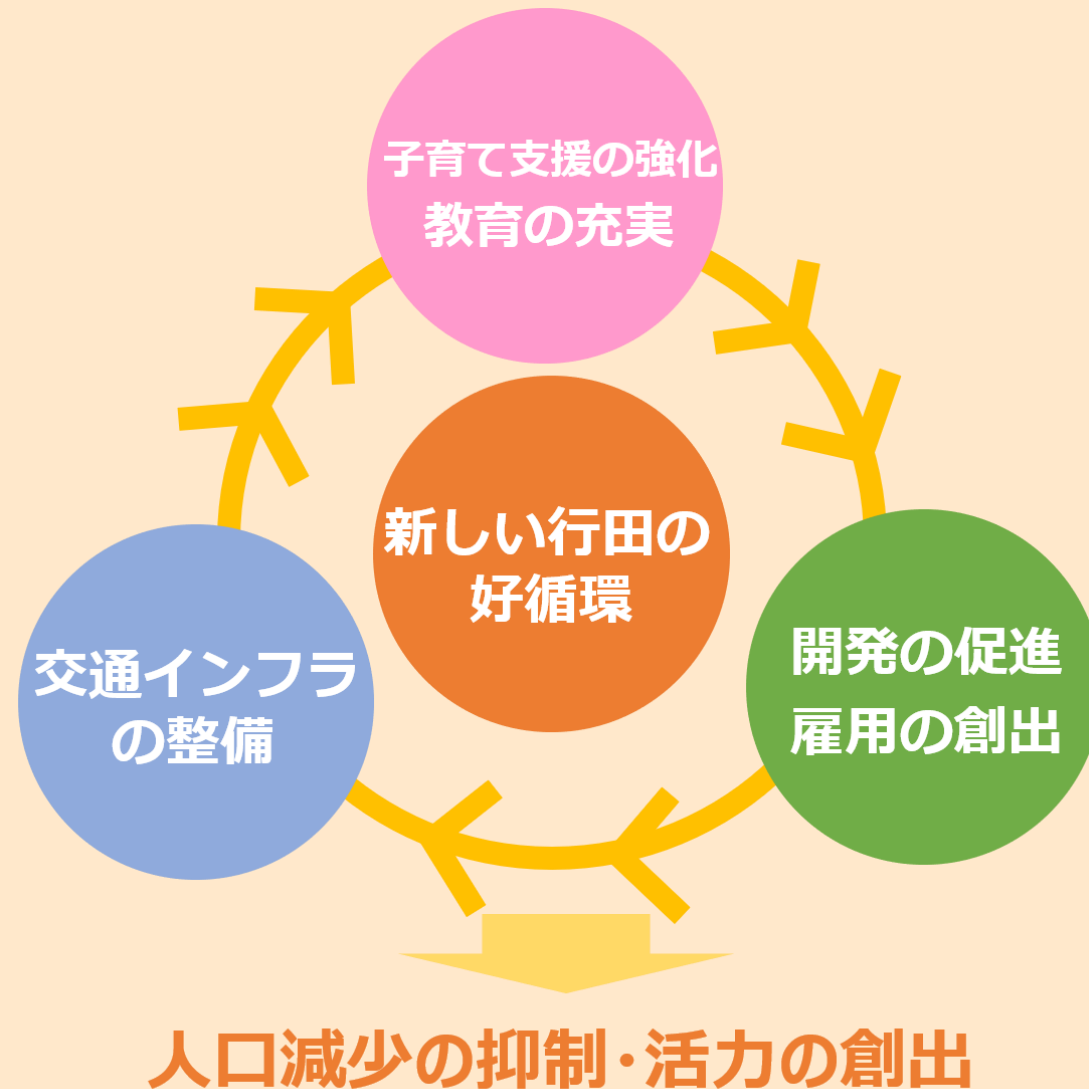
【埼玉県唯一】日本遺産魅力発信事業

行田市 日本遺産ストーリー
「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」

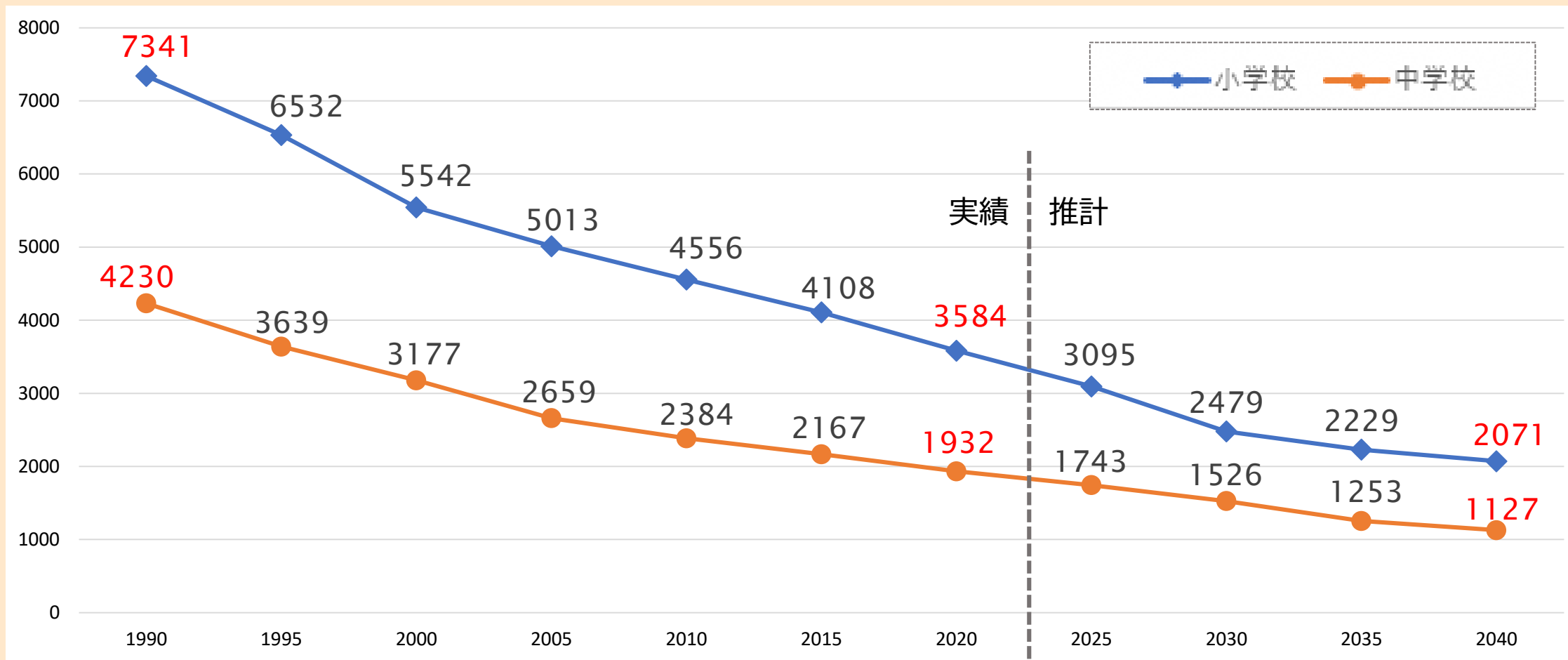
令和8年度の認定継続審査及び
日本遺産を核とした地域の活性化に向け
PR事業を拡充



新しい行田へ ～ みなさんと一緒に～

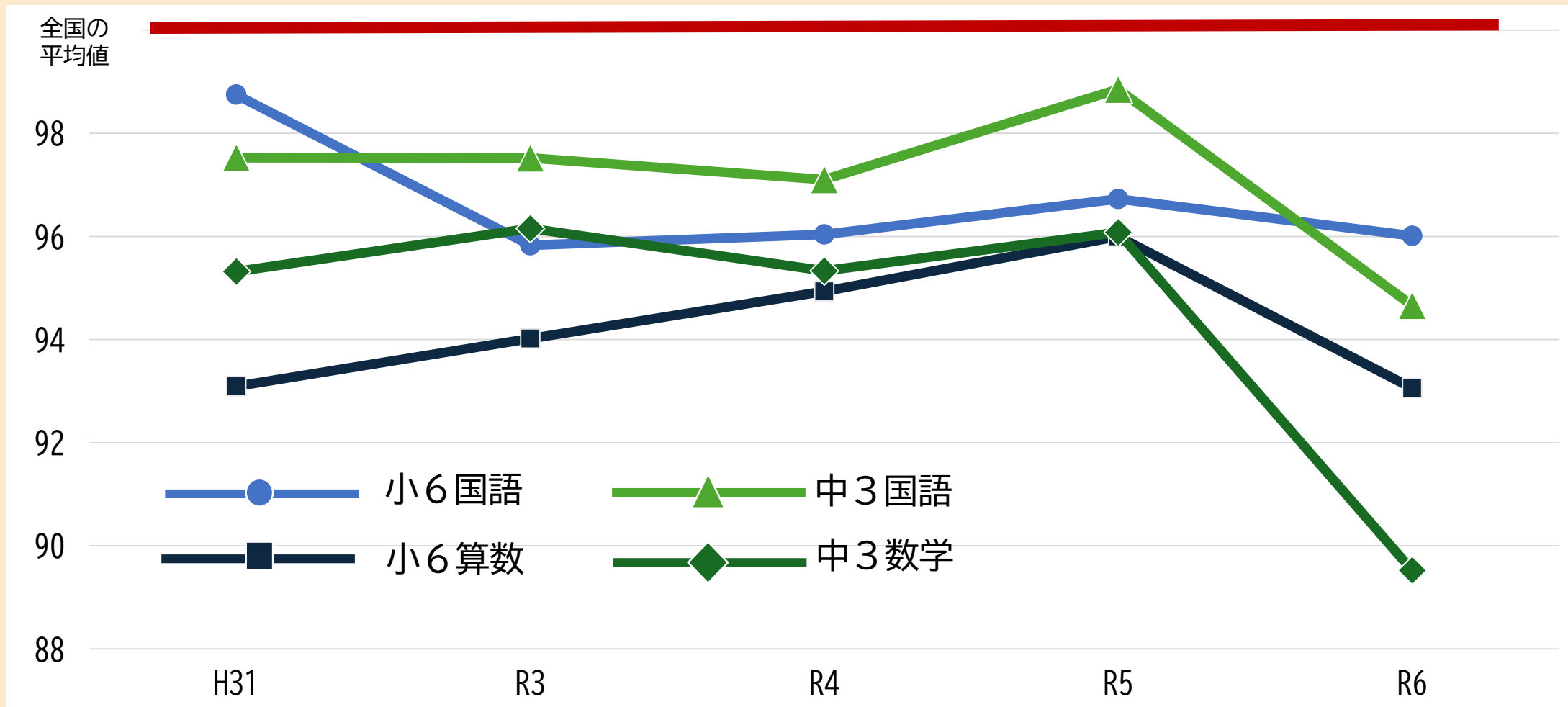


市立小中学校 児童数・生徒数の推移



市全体の人口減少を受け、市立小中学校の児童生徒数は30年で半減

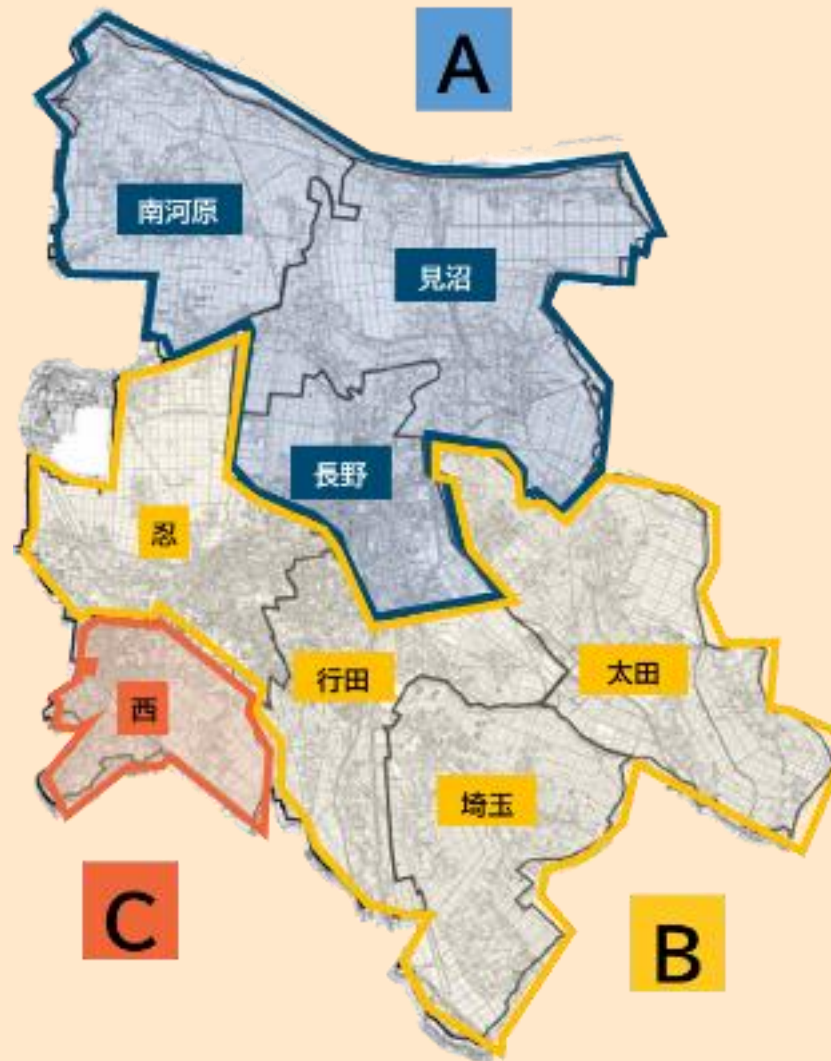
全国学力・学習状況調査の正答率の推移



いずれの年も全国平均より低く、県内でも下位グループ

ピンチをチャンスに

- ▶ 児童・生徒数の減少
- ▶ 学力の低下



令和16年度までに
市立小・中学校**20校**を
3校の義務教育学校に再編

令和12年度:Bブロック開校予定
令和14年度:Aブロック開校予定
令和16年度:Cブロック開校予定

英語のできる行田っ子

令和6年度～

ネイティブの指導員を全幼稚園に派遣

市内8園において幼児期から英語に触れ合い英語の好きな子どもを育成



令和7年度～

英語 × AI (文部科学省「AIによる英語教育強化事業」採択)

AIを活用した英語教育の実践による英語力の向上



生成AIとの英会話を繰り返し、
語彙力や表現力を高める

英語力測定ツール の導入

英語4技能(読む、聞く、書く、話す)の能力を測定
分析結果をもとに、個別最適な学びの実現と指導方法の改善



読む、聞く、書く、話すの4技能の
能力を可視化し、英語力を高める

令和7年4月1日から**教育政策アドバイザー**に就任

元さいたま市教育長 **細田 眞由美** 氏

- 平成29年～令和5年にさいたま市教育長として、文部科学省「英語教育実施状況調査」の「中学校の英語力(都道府県・指定都市別)」で4回連続日本一を実現
- 現在、うらわ美術館館長、東京大学公共政策大学院講師、文部科学省学校DX戦略アドバイザー など

【著書】

『世界基準の英語力 全国トップクラスのさいたま市の教育は何が違うのか』(時事通信社)



学校再編により地域コミュニティのあり方が変わります

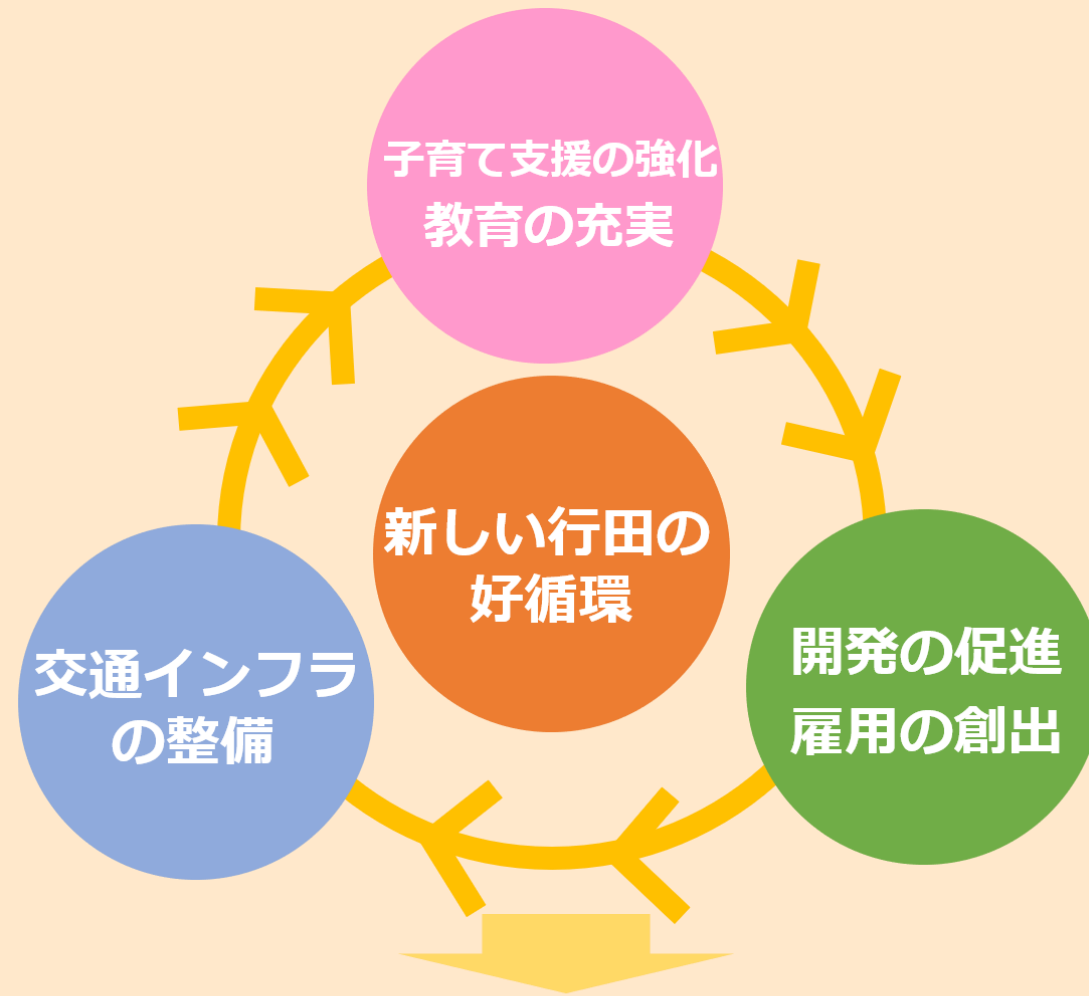
<例えば>

- ・地域の避難所の確保
- ・放課後児童クラブ(学童保育室)
- ・通学方法
- ・廃校となる学校施設の活用 など

学校再編はまちづくりと表裏一体

新しい行田の地図をみなさんといっしょにつくります

新しい行田へ ～ みなさんと一緒に～



人口減少の抑制・活力の創出